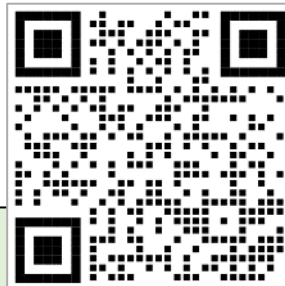


まだらの風



令和8年9月4日
学校便り No.14
校長 上田 一正



『 育てよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、つなげよう馬渡の力 』
～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

～校内展示 木村佐次男さんの寄贈作品～

馬渡島出身の木村佐次男さんより、これまで博多織手織りの作品を寄贈していただいています。校舎内の数か所に分けて展示していた作品を、まとめて展示することにしました。改めて複数の作品を並べて鑑賞してみると、伝統的な文様による作品、独自の意匠による作品、使われている色彩、などを比較する面白さを発見することができました。



今後、校内の掲示物や展示物を整理し、馬渡中学校の歴史や関係資料に触れることができるようにすることで、関係者だけでなく、ひとりでも多くの方に来校していただきたいと考えています。今回は、木村さんの作品をまとめて見るができるようにしたことと、学校沿革史を拡大印刷し馬渡小中学校の歴史をたどれるようにしています。ぜひ、馬渡小中学校の展示物を見に来てください！展示物や昔の馬渡の写真のを中心にお話も聞かせてください！

今後、校内の掲示物や展示物を整理し、馬渡中学校の歴史や関係資料に触れることができるようにすることで、関係者だけでなく、ひとりでも多くの方に来校していただきたいと考えています。今回は、木村さんの作品をまとめて見るができるようにしたことと、学校沿革史を拡大印刷し馬渡小中学校の歴史をたどれるようにしています。ぜひ、馬渡小中学校の展示物を見に来てください！展示物や昔の馬渡の写真のを中心にお話も聞かせてください！



～目標の樹 二学期～

始業式当日に、各学級で、児童生徒が自分の目標を設定しています。「目標の樹」に取りまとめている様子を撮影しました。

中身を確認すると…学習に関するもの、〇〇点とる、ローマ字を書けるように、学習時間の設定、が目立ちました。

「目標の樹」には児童生徒と職員全員分の目標を掲示しています。どうやって実現していくか、また、2学期の最後にふりかえったときに目標達成できたのか、あるいはそれ以上の成果をえることができたのか、確認する場を設けたいと考えています。公言する、ということが当事者意識になっていくように生きた教材として「目標の樹」を使います。

